



桜満開・野鳥撮影
～立田中学校付近の鶴戸川～

 **愛西市** AISAI CITY
議会だより ASSEMBLY

No.64
2021.5.1

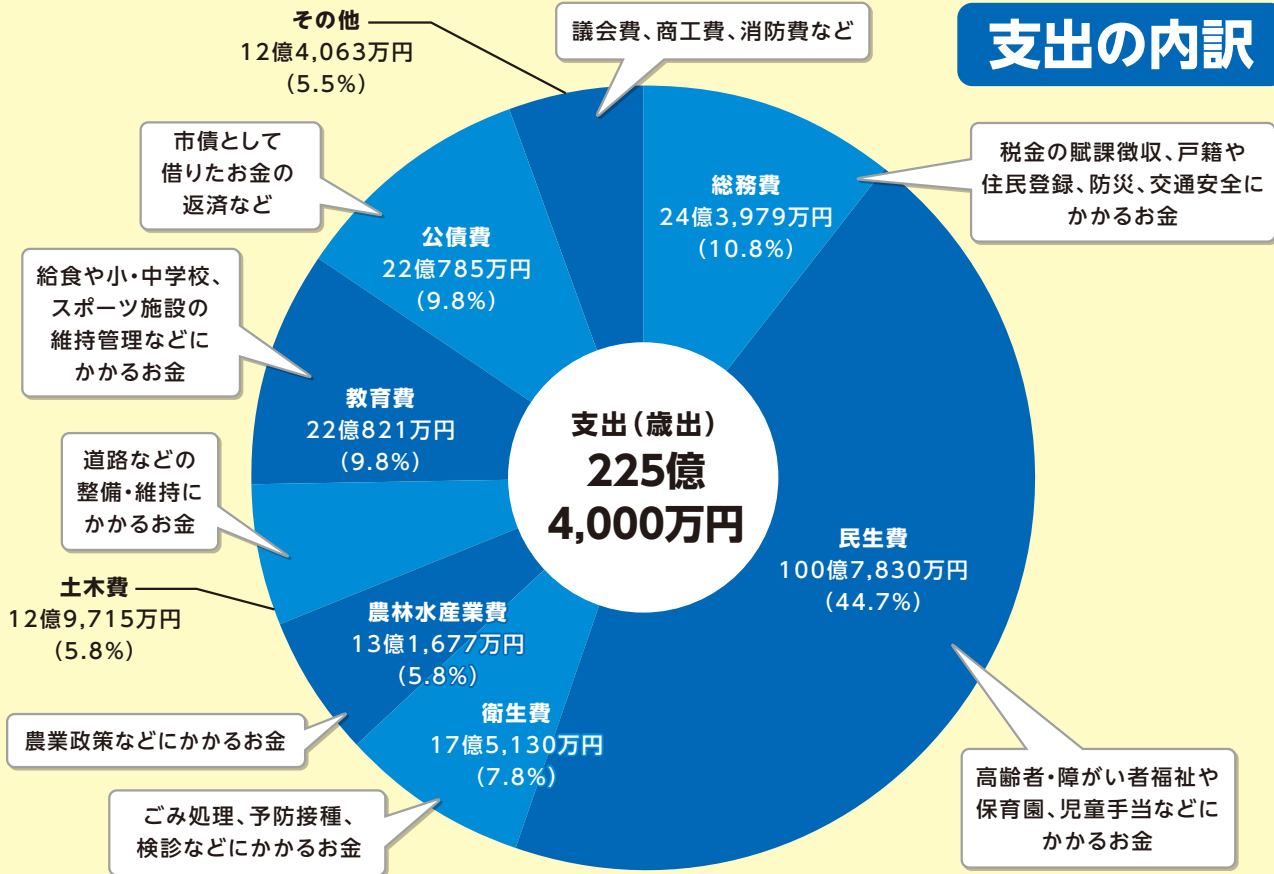
3
月
定
例
会

特集 令和3年度予算

「道の駅」再整備 児童発達支援センター建設へ	2
議論の中から新発見	5
一般質問 ～市政を問う～	7
イキイキコーナー 第8回	
立田ソフトテニスクラブ	21
取材しました！愛西市の偉人 加藤高明	22

再整備 センター建設へ

支出の内訳



●(仮称)児童発達支援センターを建設します (事業費5億5165万円)

障害児や発達に気がかりな子どものライフステージに沿った、切れ目のない一貫した支援や、関係機関との連携を促進するために、児童発達支援センターを石田町に設置します。

Q 運営管理を指定管理する考えは。

A 令和4年度から事業開始するが指定管理でなく市が運営する。



▲児童発達支援センターのイメージ図

●道の駅の基本設計と用地測量等を行います (事業費4872万5千円)

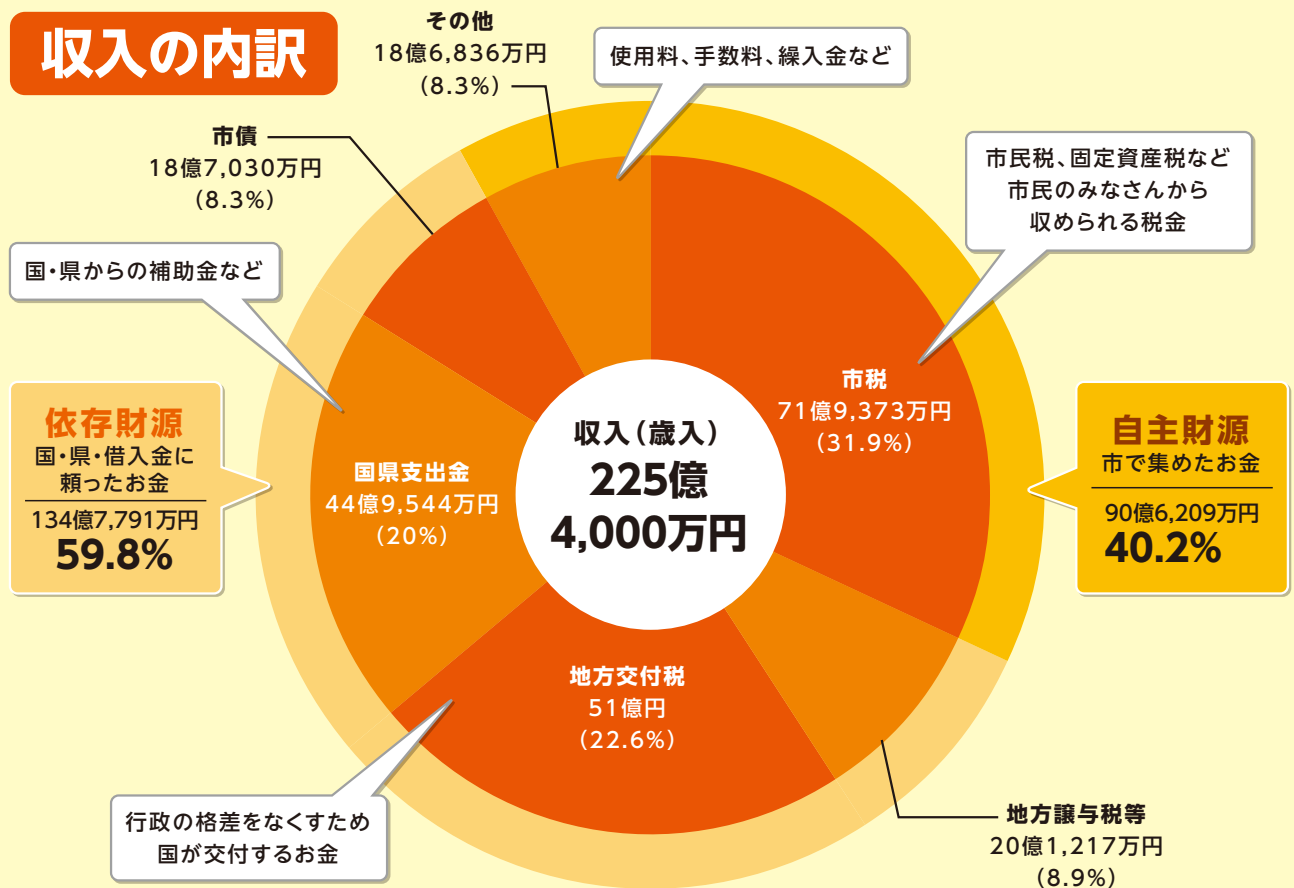
道の駅「立田ふれあいの里」や「森川花はす田」などの観光資源を活かし、この周辺地域を観光拠点として位置づけ、建築の基本設計、用地の測量等を行います。

Q 道の駅の基本設計についてのニーズ調査は、どのような施設を新設、増設するのか。

A ニーズ調査は平成30年度にアンケート調査を行った。西ゾーンに24時間対応トイレと産直施設を新設し、既存施設を改修する予定。

「道の駅」 児童発達支援

収入の内訳



認知症のある高齢者が 行方不明になったとき、QRコード付きのステッカーを用いて早期発見、早期保護できるよう見守りの体制を整備します。

Q いつから申請ができて、いつ配布されるか。

A 7月から申請開始予定。連絡先等の登録終了後にステッカーを配布する。

●高齢者へ見守りステッカーを配布します(事業費21万1千円)

※この事業は、清林館高等学校との「愛西市活性化プロジェクト」において事業提案を受けて実施するものです。



▲拡張される「森川花はす田」



▲見守りステッカー(案)

●「測高地区」を市街化区域として整備します (事業費921万1千円)

「測高地区」の都市計画変更に伴い、公園整備に向けた実施設計、用地取得に向けた測量等を行います。また、水害対策として、調整池を設けます。

Q 公園の整備スケジュールは。

A 令和3年度6月までに入札を行い、委託先を決定したい。4年度の完成を予定。

Q 調整池の構造は。

A 住環境に配慮し、最適な構造形式を検討していく。



▲緑公園、青調整池の配置図

愛西工科
高等学校
(旧佐織
工業高校)

●水稲被害対策でカメムシ防除に支援します (事業費564万円)

米の品質低下の大きな要因とされるカメムシが、過去10年で最も多く発生し、大きな被害が出ているため、その防除に係る取り組みを支援します。

Q 例年のカメムシ発生状況と比べどうなのか。米以外の作物の被害はないのか。

A 「あいちのかおり」の品質第1位の比率を比較すると、令和元年度産が約7%であったものが、2年度産は約4%と非常に落ち込んでいる。



▲カメムシの水稲被害

関係機関に確認したところ、米以外の被害は、大豆がある。

○その他の主な事業

- ・移動系防災行政無線設備更新工事
- ・生活困窮者自立支援事業
- ・ダイヤモンド婚・金婚等祝事業
- ・佐屋中央保育園修繕工事
- ・ワクチン再接種費用助成
- ・あいさい野菜メニュー提供店スタンプラリー
- ・国民健康保険特定健康診査自己負担額を無料化

討論 令和3年度一般会計予算

賛成

主な取り組みとして、電波法の改正による、移動系無線設備の更新、児童発達支援センターを設置する。現在行っている生活困窮者自立支援事業に、家計改善支援、就労準備支援を追加し、事業の充実を図り、社会福祉法人へ事業の委託を行い、専門的に支援を行う。道の駅「立田ふれあいの里」を中心とした、観光拠点の整備に向け建築基本設計、用地測量等を行う。

歳入では、国・県の動向を注視し、補助金などの新たな財源の確保を積極的に進め、歳出では、事務事業の見直し、効率化を進めると共に、将来に向けた持続可能な行政基盤の確立に向け、事業の取捨選択や、事業改善等を行っている。

反対

一番の反対理由は、「道の駅」事業だ。コロナ禍の中、いったん立ち止まるべきだ。まずは、市民の暮らしを守るために税金は使うべきだ。また、将来の維持管理費の見通しが不明に進むことも問題だ。

今の市の福祉で、本当に困っている人が救いきれているのか。支援が行き届いていない。例えば、一時保育は使いにくく、利用者が限られている。ファミリーサポート事業にひとり親や生活保護世帯、準要保護世帯への補助制度を作るべきだ。直営だった佐織包括支援センターを委託することも疑問だ。

議論の中から新発見

介護保険条例の一部改正

第8期介護保険事業計画の策定に伴い介護保険料率の設定に、第12段階を取り入れました。月額

の基準額は、5100円から5500円になりました。

Q 保険料の決定に関し、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮したか。

A 保険料算定に当たってコロナの影響を考慮し、一定の基金残高を確保した。

Q 区分設定を11段階から12段階に変更すると、保険料は。

A 年間約130万円の増額見込み。

Q 介護保険を取り巻く状況、介護認定率はどうよ

A 団塊の世代が75歳以上になる2025年が近い。

高齢化率や介護認定率は増加する。給付費の実績に基づき、介護保険サービスの利用を見込み、3年間の推計をした。

Q コロナ禍であるということ経済的な状況を鑑みて、据え置く議論はなかったか。

A 介護保険料をどのように設定するかとの議論はあったが、安易に考えると次の期の上昇率が非常に上がる可能性を加味した。

Q 高齢化率、介護認定率はいくつになるのか。7期の増減は。

A 7期の平均高齢化率は0.56%の増。平均介護認定率は0.97%の増。さらに標準給付費は107.4%、地域支援事業費は102%と見込んで

八開総合福祉センターの給湯・お風呂施設修繕

修理部品の調達が遅れて、利用できなかった福祉センターのお風呂が、利用できるようになり

ます。

Q お風呂の修繕の時期と、利用開始できる時期は。

A 3月末までに修繕を行い、利用の開始は、水質検査後に再開を予定する。



▲お風呂の修繕がされる八開総合福祉センター

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

ワクチンの接種を実施するための体制整備を行う。集団予防接種を市内公共施設で行い、個別予防接種を医療機関に委託して体制を整えます。

Q 集団接種会場はどこを予定しているか。

A 佐屋・佐織保健センター、立田南部地区・川渚地域・永和地区防災コミュニティセンター、八開総合福祉センター、親水公園総合体育館、市役所南館の8カ所だ。

Q 高齢者タクシー業務委託の内容は。

A 65歳以上の人にタクシー券を配布し、自宅から接種会場までの行き帰りの迎え料金と初乗り料金を合わせて650円を市が負担する。

Q 個別ワクチン接種は何か所の医療機関か。

A 現時点では、16カ所の予定だ。

Q ワクチン接種の予約体制は。

A コールセンター、インターネット、LINEの3つの予約体制をとる。



▲ワクチン接種訓練の様子



■海部地区水防事務組合
会議員

(議会選出)

原 裕司 議員

馬淵 紀明 議員

(市長推薦)

伊藤 義明 氏

を当選人としました。

■海部地区急病診療所組合

会議員

竹村 仁司 議員

近藤 武 議員

を当選人としました。

令和3年第1回臨時会および3月定例会
議案審議の結果と議員の賛否

○：賛成
●：反対

会 派	新生愛西クラブ										日本共産党 愛西市議団		あいさい クラブ		公明党 あいさい		無会派	無会派	
	審議 結果	鬼頭 勝治	杉村 義仁	島田 浩	神田 康史	鷺野 聡明	近藤 武	佐藤 信男	原 裕司	石崎 誠子	河合 克平	真野 和久	加藤 敏彦	山岡 幹雄	大宮 吉満	竹村 仁司	高松 幸雄	吉川 三津子	馬淵 紀明
3月定例会議案																			
愛西市職員定数条例の一部改正について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
愛西市介護保険条例の一部改正について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●	○
令和2年度愛西市一般会計補正予算(第11号)	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●	○
令和3年度愛西市一般会計予算	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●	○
令和3年度愛西市国民健康保険特別会計予算	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●	○
令和3年度愛西市後期高齢者医療特別会計予算	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
令和3年度愛西市介護保険特別会計予算	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●	○
令和3年度愛西市水道事業会計予算	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●	○
令和3年度愛西市下水道事業会計予算	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●	○

※審議結果の「可」は可決です。その他の議案は全員賛成。「議」は議長のため、採決に加わっておりません。
※第1回臨時会の議案については全員賛成。

市政を問う

13議員が一般質問

一般質問とは…

議員が市の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質問することをいいます。持ち時間は、今回は議員1人あたり40分です。

●定例会第2日目および第3日目に、13人の議員が一般質問しました。発言順に掲載します。

3月9日

竹村 仁司 議員 (P8)

- ◆地籍調査に対する考え方は

真野 和久 議員 (P9)

- ◆学校老朽化対策スピードを持って改修を
- ◆公共施設でインターネット利用を

山岡 幹雄 議員 (P10)

- ◆調整区域で家が建つ土地の規制緩和は
- ◆昼営業の飲食店に協力金の支給を

神田 康史 議員 (P11)

- ◆コロナ禍の市消防本部の現状と今後は

吉川 三津子 議員 (P12)

- ◆なぜ黒塗り公文書公開が続くのか
- ◆コロナ禍 大型公共事業は立ち止まれ

原 裕司 議員 (P13)

- ◆地域部活動へ移行 受け皿の検討を
- ◆コロナ禍での総合斎苑の利用状況は

近藤 武 議員 (P14)

- ◆3期目に向け市長の思いは
- ◆下水道事業に関する諸問題は

3月10日

高松 幸雄 議員 (P15)

- ◆ワクチン接種についての思いは

加藤 敏彦 議員 (P16)

- ◆市独自のPCR検査は
- ◆核兵器禁止条約の批准の考えは

石崎 誠子 議員 (P17)

- ◆防災意識啓発の考えは

河合 克平 議員 (P18)

- ◆日永市政8年間の市政運営を見直せ

馬淵 紀明 議員 (P19)

- ◆コロナ禍 健康二次被害の周知は

佐藤 信男 議員 (P20)

- ◆老朽化した中央保育園の長寿命化対策は
- ◆交通安全対策と自転車レーン設置は

地籍調査に対する 考え方は

竹村 仁司議員



測量を実施することは有効だ

産業建設部長



▲土地の境界を示す境界杭

問 地籍調査に対する考え方、目的は。

答 市街地については、災害後の早期復旧、公共事業の円滑化などの観点から、地籍調査、または同等の精度を有する測量を実施することは有効だ。

問 地籍調査に係る費用は、国、県の補助があるのか。市の事業に対する実負担はどの程度か。

答 調査に必要な経費の2分の1は国、4分の1は

県が補助し、残りの4分の1が市の負担となる。

県、市町村が負担する経費は、80%が特別交付税措置の対象になる。

問 高齢化社会にも備え、まちづくりが求められる。都市計画の見直し、再構築に当たって地籍調査の必要性は。

答 土地の位置と形、地番、地目、面積を確定することにより、調査結果を災害復旧や公共事業に活

用することができ、事務事業の効率化にも役立てることができる。

問 集約型まちづくりを行うために地籍調査が有効と考えるが、都市計画の再編成など市の計画は。

答 佐屋駅周辺は、交通結節点機能の強化に向け、調査等を開始した。道の駅周辺整備事業では、補助金を活用して地籍調査と同等以上の精度で測量を実施する。

問 市長に地籍調査の見解を尋ねる。

答 補助対象となる公共事業の制度を活用して計画的に進めていく。調査への理解、合意形成を図って、財源確保等、有利な状況になれば、活用しながら事業を進めていきたい。

その他の質問

●特徴ある発達支援センターの確立を

問 市の土地と民地の境界を明らかにすることは

市民の負担軽減にもつながる。地籍調査を行うのであれば、官民境界からと考えるが。

答 官民境界を先行して調査を行う官民境界等優先調査がある。通常の地籍調査に比べ早く調査ができ、災害時における道路等のライフラインの早期復旧ができる。



学校老朽化対策スピードを持って改修を

真野 和久議員

できる限り速やかに行いたい
学校教育課長



▲老朽化し改修が必要な校舎(立田北部小)

問 小・中学校施設老朽化対策検討委員会の検討状況は。また、今後のスケジュールは。

答 コロナの影響で、令和2年度は2回開催した。年度内にもう一回開催したい。3年度も5月から会を再開し、年度内に教育委員会への提言を出してもらおうようスケジュールを考えていく。

問 検討委員会の答申が出されれば、改修工事が

いつから始めるのか。
答 改修工事の予定については、現在は未定だ。

問 危険な部分を直すのは、スピードが必要。市内全体の老朽化対策工事をいつ頃までに終わるか。
答 施設の改修等はできる限り速やかに行いたいが、現時点では具体的な期間は未定だ。

問 トイレ改修は、ようやく巡らだ。学校校舎が10

年、20年というような計画になってしまっているのか。
答 市は、最大限、教育部

局と協力しながら活用できる財源をもって整備に当たっていかねければならない。

問 小・中学校規模適正化との関係で、対象の学校の老朽化対策を遅らせる、あるいは統合に伴って行うことはあるか。

答 学校施設の老朽化により、児童・生徒が危険にさらされることがあってはならない。小・中学校の規模適正化を優先することで、学校施設の老朽化対策を行わないということは考えていない。

公共施設で
インターネット
利用を

問 市役所など公共施設で、WiFi利用を可能にしてはどうか。また、文化会館や佐織公民館、コミュニティセンターなどの利用で、インターネットを活用した会議ができるようにしてはどうか。
答 WiFiの必要性は認識しており、情報化推進専門部会を立ち上げ、設置に向け調査・検討を行っている。

また、インターネット利用もその中で検討する。

その他の質問

●市内に成年後見センター設置を

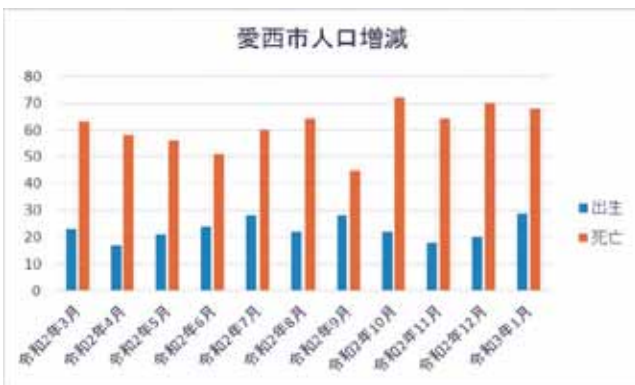
調整区域で家が建つ 土地の規制緩和は

山岡 幹雄 議員



規制緩和の検証を含め県と協議する

産業建設部長



▲人口減少グラフ

問 人口が日々減っている。市の感想は。

答 市の大半は市街化調整区域で住宅が建ちにくい区域だが、今後も自然減や社会減の抑制のため、市総合戦略における施策・事業の取り組みを継続的に進める。

問 定住人口の確保に市街化調整区域内でも家を建てられる土地利用規制を緩和する考えは。

答 対象地域の土地利用

分析と、都市計画に関する課題の解決手法や実施事例の検証を含め、県と協議する。

問 内閣府が新型コロナウイルス対応に支援するため、地方創生臨時交付金の総額は。

答 市の成立予算で8億414万6千円だ。

**昼営業の飲食店に
協力金の支給を**

新型コロナウイルス感染症対応地方交付金事業

(単位千円)

事業名	予算額	未執行額
商工業者の冬支度応援事業	100,405	64,920
小中学校GIGAスクール事業	229,508	34,650
プレミアム付商品券補助事業	110,000	3,190
高齢者インフルエンザ予防接種事業	33,151	4,960
修学旅行対策事業	2,570	2,570
その他事業	458,126	70,100
総額	933,760	180,390

▲地方創生臨時交付金表

問 地方創生臨時交付金の未執行の総額と事業残金は。

答 事業総額は9億3376万円。事業未執行額は決算見込みで1億8039万円だ。

問 未執行1億8千万円をコロナ対策として昼営業の飲食店に協力金の支給の考えは。

答 議員の提案の事業について、次年度において検討する。



コロナ禍の市消防本部の現状と今後は

神田 康史議員

感染拡大防止に配慮し行事を実施した
消防長



▲愛西市消防本部

問 コロナ禍における消防本部の現状を前と後に分け、その活動実態は。

し活動実施した。

答 新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生した当初は、中止した行事等が多くあったが、その後対策がとれる行事は行ってきた。例えば消防団員の士気の維持や訓練成果を確認する場が必要と考え、秋に全分団を対象とした消火活動訓練は実施した。消防団年末夜警も密集しない工夫を施

問 第一次総合計画の総括と第二次総合計画の進捗については。

した当初は、中止した行事等が多くあったが、その後対策がとれる行事は行ってきた。例えば消防団員の士気の維持や訓練成果を確認する場が必要と考え、秋に全分団を対象とした消火活動訓練は実施した。消防団年末夜警も密集しない工夫を施

答 第一次は、①防災基盤の整備・充実②消防団の充実・強化③救急救命体制の充実が柱だ。①については、消防車や救急車の更新や整備、消防通信環境の整備を実施。②については、安全装備品の整備に加え、南海トラフ地震や風水害への対応とし

て、救助用ゴムボート・救命胴衣等資機材を全分団に配備し、有効で安全な活動ができるよう充実・強化に取り組んだ。③については、救急救命士有資格者を採用することで一人でも多く救急隊に配備できる体制を整えた。

成が非常に重要であると考える。消防は24時間勤務であり、寝食を共にし、災害現場では厳格な指揮命令体制が必要な職場体制である。よって人間関係が非常に大切だ。人材育成により各種災害に的確に対応してくれると確信している。職員が一丸となり市民の生命と財産を守るので、応援してほしい。

第二次総合計画では、消防指令台の共同運用や広域化（近隣消防との連携協力を図る）を構築し、名古屋市役所内に共同指令センターを設置し運用を開始する予定をしている。

問 在任中の総括と、消防本部への思いは。

答 コロナ禍で職員が感染の恐怖と闘いながら、使命感と責任感を持ち、感染者や感染疑いのある傷病者を搬送した。消防職員から感染者を出すことなく業務を継続できたことに感謝している。

課題については、人材育

課題については、人材育

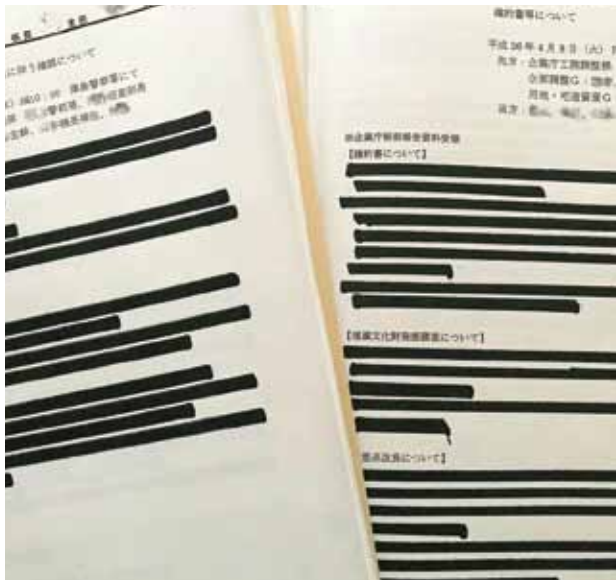
なぜ黒塗り 公文書公開が続くのか

吉川 三津子議員



職員の意識不足を反省している

総務部長



▲県警との安全に関する協議までもが黒塗り(688枚)

問 誰もが市が所有する文書を手入することができ

るのだが、情報公開制度であり、市民と市の信頼関係を深めるためである。

しかし、愛西市では「黒塗り」の公開が続いている。市の見解は。

答 運用マニュアルに基づき、対応している。

問 市民の方から「公共下水道分担金に不公平がある」と連絡を頂き、2年間、情報公開をして調べ

てきたが「黒塗り」が続いた。また、南河田企業団地進入路の交差点隔切りに関する予算が12月議会に上程されたが「答弁拒否」だったため、是非を見極めるため情報公開をした。しかし、688枚が「黒塗り」だった。

答 都合の悪い文書は出さなくてよいという暗黙のルールが市にはあるのか。なぜ何度も続くのか。

答 一部の部署で、条例の運用が適切でない事例が

あった。指導していく。職員の意識不足を反省している。

問 市の情報は市民のものだという認識が職員に不足していないのか。職員研修の現状は。

答 情報公開に関する研修は、今まで行っていない。公開の在り方など教育していく。

コロナ禍 大型公共事業は 立ち止まれ

問 コロナ対策により、国の借金は国民1人当たり約966万円になり、2年前で100万円も膨らんでいる。次年度以降の市の財政見通しは。

答 令和8年度から合併特例債の活用ができなくなり、財源確保が厳しくなる。社会保障経費等の増加、公共施設の更新、老朽化対策費も財政を圧迫する。

問 コロナ禍で、市民の収入減・失業・生活保護が増えている。

道の駅拡張事業は、東の広い広場にパーベキュー施設整備等をする総額35億円の事業で、維持管理費に見合った収益が上げられるかも不透明だ。

不安定な先が読めない中、立ち止まるべきでは。

答 コロナ禍後の愛西市のまちづくりのひとつとして、計画を進めていく。



地域部活動へ移行 受け皿の検討を

原 裕司議員

地域にあった活動方法を協議調整する
スポーツ課長



▲変わる休日の部活動、地域部活動へ移行(佐屋中)

問 文部科学省は、学校

における働き方改革で、
教員の長時間労働を改善
するため、休日の学校部
活動を地域部活動へ移行
しようとしている。

市教育委員会が、把握
している中学校教員の、
正規勤務時間外の部活動
も含めた在校時間で、最
も多い月や時間・人数は。

答 調査対象人数128
人中、45時間を超える教
員が一番多かった月は、10

月の94人、1000時間超

えは7人だ。次に6月の
45時間超えは71人、10
0時間超えは14人だ。

問 日頃の指導や休日の

大会等の部活動に関する
教員の手当支給額は。

答 特殊業務手当として、
土日の指導は3時間以上
で2700円、大会等は8
時間以上で、5100円
を支給している。

問 移行にあたっては、地

域部活動を行える体制づ
くりが重要だ。この受け
皿の検討は。

答 中学生を受け入れて
いる地域のスポーツ少年
団等で、検討を進めてい
る。

問 受け皿は、点でなく

線で検討する必要がある。
今ある社会資源の活用
を考えれば、スポーツ課

管轄の、総合型地域ス
ポーツクラブが人材確保
から育成、紹介まで管理
運営が可能だ。受け皿と
しての考えは。

答 現時点では、不透明
な部分も多く、今後、地
域にあった活動方法を協議
調整していく。

況は。

答 3月1日現在、10件
で市外の利用はない。

問 斎場の利用における、

指定管理者、葬儀業者、
利用者との約束事や通常
利用との区分けなど、安
全配慮は。

答 国のガイドラインに
基づき、通常の火葬時間
と区分して受け入れ、参
列者を必要最小限にして、
式場ホールと火葬ホール
を扉で遮断するなど動線
が重ならない配慮をして
いる。

コロナ禍での 総合斎苑の 利用状況は

問 コロナ感染症による
死亡者で、市外を含めた
愛西市総合斎苑の利用状

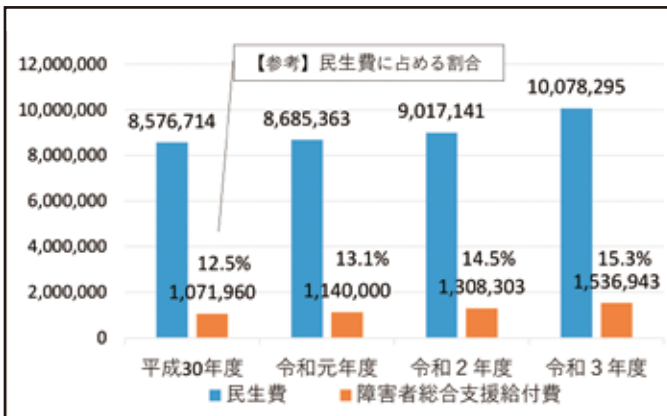
3期目に向け 市長の思いは

近藤 武議員



市の行く末を考えた事業が必要

市長



▲民生費及び障害者総合支援給付費(千円)

問 令和2年度、新型コロナウイルス感染症拡大対策の状況は。

答 総額84億711万円。市民生活や事業者支援、他にも各施設の感染症予防対策を実施し、現在、ワクチン接種体制確保事業の準備を進めている。

問 骨格予算の考え方は。

答 児童発達支援センターの建設や道の駅再整備などの継続事業は、事

業執行が遅れないように計上した。新型コロナウイルス感染症対策は、市の状況を見ながら、今年度同様、補正予算での対応を考えている。

問 4年前の骨格予算との比較は。

答 民生費の伸びが大きい。障害者総合支援給付費扶助は、約6億5000万円伸びている。介護保険や後期高齢者医療保

険への繰出金も増加している。

問 次期市長選、3期目に向けて課題や思いは。

答 少子高齢化や人口減少に直面し、持続可能な市政運営は、さらに厳しさを増していく。事務事業を見直すことは当然のこと、今後の市の行く末を考えた事業を展開していく必要がある。

下水道事業に関する諸問題は

問 延滞金の徴収は、どのように行われたのか。

答 昨年11月、対象者にお詫びと納付のお願いをしに、全部課長ほか、総勢48名で戸別訪問を実施した。

問 受益者負担金の経過

答 は。当該事業者と将来的な解決を目指し、今後も

協議を進めていく。

問 今回の問題を組織としてどう受け止め、再発防止に向けてどのように取り組むのか。

答 法令の正確な理解やこれを遵守する意識、債権管理や業務改善の重要性に関する意識の欠如があった。

改めて不適切な取り扱いを反省するとともに、今後の信頼回復に努め、法令遵守、事務内容の再確認、関係部署の連携、情報共有を徹底し、再発防止に努めていく。



ワクチン接種についての思いは

高松 幸雄議員

早く通常の生活に戻ることを願う
市長



▲市の第2回ワクチン接種訓練

問 ワクチン接種の流れ、接種券を忘れた場合、予約の方法、電話の予約回数などは。

答 対象者へ接種券を送付し、そこに会場や日時の案内チラシを同封する。記載の予約専用電話、もしくはインターネットにより接種日の予約をする。チラシに記載の開始日より電話は、平日の午前9時から午後4時まで、インターネットは、平日・土日も24時間受付を行う。

予約専用電話としては10回線を予定。予約日の1週間ほど前に市から予診票並びに体調チェックリストを送付するので、事前に記入をし、接種券と一緒に当日会場に持っていく。接種券を忘れた場合は、接種ができません。

問 集団接種会場は佐屋の保健センター、立田南部地区防災コミュニティセン

ター、八開総合福祉センター、川淵地域防災コミュニティセンター、永和地区防災コミュニティセンター、親水公園総合体育館及び市役所南館の計8カ所、個別接種は市内の医療機関16カ所ほどを予定しているということだが、接種数の想定は。

答 6万738人を対象とし、その8割である4万8千590人を想定。

たことよって感染症の拡大が終息をすること、副反応が出ないこと、安全で接種を終えられ、通常の生活に戻ることを願っている。現状では4月後半にワクチンが1箱500人分送られてくるということだが、このワクチンについて、どのような取り扱いをしていくのか考えなければならぬ。市は、スムーズな接種が進むよう、ワクチン接種に望んでいきたい。

問 65歳以上の方には自宅と接種会場までのタクシーチケットを送付し、迎車料金と初乗り料金の往復分を2回、補助されるが、集団接種会場までの送迎バスは考えてないか。

答 バスによる送迎の考えはない。

問 ワクチンの接種が始まることについて市長の思いは。

答 このワクチンが新型コロナウイルスに対して効果があること、接種し

市独自のPCR検査は

加藤 敏彦 議員



PCR検査を実施する考えはない
健康子ども部長

問 新型コロナウイルス

感染者数は、3月9日現在、愛西市で192人となっている。亡くなった方は10人である。

市のワクチン接種について、どうなっているか。

答 医療従事者向けで先行接種が始まった。市への

ワクチンは、4月後半に1箱が配送される。

個別接種については16カ所予定をしている。

問 元日本がん学会の会

長の黒木登志夫さんが新型コロナウイルスについて、「非常に賢いウイルスで、その特徴の一つは、発症する前に無症状で感染し、

知らないうちに広がってしまうことだ。このウイルスをチェックするには、PCR検査と抗原検査しかない」と述べている。

変異ウイルスが広がれば、感染拡大のスピードが速まり、患者が一気に増える可能性が高い。

PCR法

PCR法		
	鼻咽頭ぬぐい液	唾液
容器		

▲市独自にPCR検査実施を

問 集団感染を防ぐため、

医療機関、高齢者施設、保育園、学校などの勤務者を対象とした社会的検査の実施と、一般市民を対象とした市独自のPCR検査の体制の確立が必要と

考えるが、市の見解は。

答 社会的検査やPCR検査を実施する考えはない。

核兵器禁止条約の批准の考えは

核兵器禁止条約の批准の考えは

問 広島、長崎に原子爆

弾が投下されてから72年目の2017年7月7日、

人類史上初めて核兵器を違法化する核兵器禁止条約が国連で122カ国の

圧倒的多数の賛成で採択された。1月22日より核兵器禁止条約が発効した。

市長はこの核兵器禁止条約について、非核・平和

宣言を行っているまちの

長として、どのような見

解を持っているか。

答 市は、平和首長会議

に加盟しており、市民一人ひとりが日常生活の中で平和について考え、行動することを推奨している。

私たちの子や孫たちにとって核兵器のない社会をつくることの責任があると認識している。

2021/5 愛西市議会だより 16



防災意識啓発の 考えは

石崎 誠子議員

ハンドブックを活用してほしい

市長



▲市初の「防災ハンドブック」活用で事前の備えを

問 防災ハンドブックは、どのような視点で作られているか。

答 風水害と地震それぞれの備え、各家庭でのマイ・タイムラインの作成、避難生活での必要な知識や注意点、「たすかるバッグ」やローリングストックによる備え、避難場所や避難ルートの確認などについて理解を深める内容となっている。

問 市内全域が2分割、3分割、6分割されており、活用するには分りにくい。市民から聞いていたが、新ハザードマップはどうなっているのか。

答 災害の危険度が目で分かるよう市内全域を1枚にまとめ、危険度の色分けも見やすくなるよう工夫した。想定外となることを防ぐため、百年に一度と言われる規模だけでなく、千年に一度という想定上最大規模も示し

ている。

問 防災意識の啓発として、市役所南館の情報コーナーに防災用品が展示されているが、防災ハンドブックの内容も含め防災ギャラリーとして展示を充実させては。

答 避難所用テントや「たすかるバッグ」等の内容に更新していきたい。

問 防災意識の啓発について市長の考えは。

答 行政のみでは全ての市民の命を守ることはできない。いざという時は自らの命、家族の命、地域の命を守るための行動をしてみたい。
そういった啓発、教育、意識向上のために、市の新たな防災ハンドブックを活用して、改めて、家族で防災について考えてほしい。

問 旧ハザードマップは、

う想定上最大規模も示し

問 コロナによって学校の防災教育はどう変わったのか。また、今後どのように防災について継続して学んでいくのか。

答 避難訓練等で密を避け、場合によっては分散避難をするなど、非常時であっても行動に気をつけるよう指導している。

災害時の新型コロナウイルス対応を含めた防災教育については、今までに経験のない事であり、今後、内容や方法を工夫していく必要がある。

日永市政8年間の 市政運営を見直せ

河合 克平議員



市民・関係者の理解と協力で進めて来た

総務部長



▲補助金削減の推移

問 他の自治体がしていないとの理由で削減した、学校教育補助金や各種補助金を拡大する考えは。

答 補助金の性格ごとに見直しを行っている。

問 巡回バスの増便、高齢者福祉タクシー利用の拡大は。

答 巡回バスの運行は現時点での拡大については考えていない。高齢者福祉タクシーの利用の拡大は考えてない。

問 統合された保健センターを再分割する考えは。

答 再分割する必要はない。

問 国民健康保険税の所得割の引き下げと、児童に対する均等割の削減は。

答 所得割額を引き下げることが困難。子ども減免は実施しない。

問 18歳までの医療費を無償化する考えは。

答 18歳までの児童については

いて医療費を無償化する考えはない。

問 佐屋北保育園の廃止、永和保育園の民営化、それぞれの廃止について撤回する考えは。

答 佐屋北保育園は令和4年度末で廃園。永和保育園は民間へ移管する。

問 減免の拡大や公共施設使用料を見直す考えは。

答 使用料については3年間据え置く。

問 佐屋駅の整備の考え方は。

答 駅前広場などの早期整備を進める。

問 佐屋北地区の防災コミュニティセンターの整備の考えは。

答 佐屋北地区の防災コミュニティセンターを整備する考えはない。

問 それぞれの答弁は日永市長の方針であると確

答 認するが。各部長、各担当が答弁をしたが、現時点において、この計画であると認識している。

問 8年間、この市政の運営というものを再度見直し、本当に住民の福祉を向上させる、そういう愛西市になることを求めるが。

答 議員の見解は私の評価ということ、伺った。



コロナ禍 健康二次被害の周知は

馬淵 紀明議員

用語を取り入れて対応していきたい

健康子ども部長

感染症対策による活動制限・運動不足の長期化による影響

- ウイルス感染への不安
- ストレス蓄積
- 体重増加 生活習慣病の発症・悪化
- 体力の低下
- 情緒・員こり・疲労
- 体調不良

運動の効果

(成人)

- 自己免疫力の向上
- ストレス解消
- 体重コントロール
- 体力の維持・向上
- 血圧の促進

(子供)

- 発育期の健全な成長 (運動量)
- 筋力・筋力の維持 転倒防止
- 認知症予防
- 食欲増進

健康に対する抵抗力
メンタルヘルスの改善
生活習慣病の予防・改善
筋力の維持・向上
肥満・員こりの改善
冷え性・関節炎の予防

コロナ禍の運動の注意点

- 感染症予防 三つの密を避ける 手洗いの徹底など
- 熱中症対策 水分補給 過激な休憩 屋内での運動
- 適度な運動 運動を再開するときは、いつもより短めから 運動強度や運動量は徐々に増やす

▲スポーツ庁からの健康二次被害資料

問 アフターコロナも見据えて、市民が安全に運動・スポーツを行うための取り組みを何か考えているのか。

答 コロナ禍においてスポーツ活動が制限され、スポーツの重要性、スポーツをする喜びが再認識されている。利用者がより安全で安心してスポーツを行うことができよう、国や県のガイドラインなども踏まえ、感

問 コロナ禍の健康二次被害について、具体的な情報発信、周知方法は。

答 出前講座で、運動不足やストレスから心身に悪影響を来す健康二次被害、あるいは加齢により心身が老い衰えた状態になるフレイル等の用語を盛り込んだ説明をするなど、啓発を行っている。今後もあえて用語を取り入れた内容を心がけて対応していきたい。

問 ワクチン接種が始まるが、接種会場で健康二次被害の予防のチラシやフレイルチェック等は配布できないか。

答 チラシなどの配布物を待機場所に置くことは一度検討したい。

問 健康二次被害対策として、今までに実施してきた取り組みはあるのか。

答 代表的なものは、健康なまちづくり事業。健康推進課で実施する事業

のほとんどが市民の健康を大前提にしている。

問 今後、健康二次被害の予防も含め、手軽に自分の健康状態を確認できる健康測定機器を、親水公園のトレーニングルームだけでなく、他の公共施設にも設置していく考えはないか。

答 佐織のトレーニングルームに、ニーズ・必要性に応じて、検討していきたい。

染拡大防止策を取った上で事業を実施したい。

問 市内の屋外施設は、平日の午後、利用が少ないと以前から聞いている。屋外施設を利用した市民の外出機会をつくるような取り組みを考えてみては。

答 平日の午後の屋外施設に限らず、市民のスポーツに親しむ機会が少しでも増えるように周知していきたい。

老朽化した中央保育園の 長寿命化対策は

佐藤 信男議員



建築40年以上経過で大規模改修を実施

健康子ども部長



▲大規模改修する佐屋中央保育園と新設駐車場

問 佐屋中央保育園の新設駐車場が完成したら、どのような利用形態にする予定なのか。

答 北側道路の混雑を解消するため整備する。保護者の理解を得て、整備が完了後は、北側道路ではなく、南側の新設駐車場での送迎をお願いしたい。

問 新設駐車場と保育園の入り口はどのような接続にするのか。

答 来年度に予定する修繕工事で、新たに園庭の南西隅に門を設ける予定だ。

問 保育園の建物も老朽化が進んでいる、長寿命化などの対策が必要と判断するが、何か対策を考えるか。

答 保育園は建設から40年以上が経過しており、建物の長寿命化を図るため、来年度に大規模な改修工事を行う。

交通安全対策と 自転車レーン 設置は

問 佐屋駅や日比野駅、中学生や高校生の通学路に安全対策の自転車レーンの塗装をしては。
答 必要性が認められれば、近隣市町の状況を見て検討したい。

問 市内の交通安全対策は不十分だ。対策は。
答 交通安全プログラム



▲交通安全プログラムにより決定されたカラー塗装（西條町地内）

により対策を行う。

イキイキコーナー 第8回 立田ソフトテニスクラブ

練習日は 毎週水曜日
練習時間は 午後7時から9時 立田体育館
部員数は 20名(男子5名・女子15名)
 小学校3年生から中学校3年生

指導者数は 2名

指導者からの一言(目標)

初心者から全国クラスまで、一緒に楽しくソフトテニスをやっています。あいさつ、ボールひろいを大切に、ソフトテニスの基本を練習します。

個人の目標

カットサーブやバックハンドを上達したいラリーを続ける

練習内容は

サーブやレシーブ、ボレー、ストロークなどの基礎練習



入部の動機は

兄が入部し楽しそうだから



開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる「愛西市議会だより」にするため、**写真掲載とコメントを募集します。**

小中高生などを対象としたサークル活動・スポーツ団体などで、活動内容を撮影した写真と活動内容に対するコメント。

お問い合わせ・送付先

愛西市議会広報特別委員会(市議会事務局)
 〈住所〉〒496-8555 愛西市稲葉町米野308番地 〈電話〉0567-55-7141
 〈ファックス〉0567-26-7141 〈メール〉gikai@city.aisai.lg.jp

第21回取材しました!
愛西市の偉人③

愛知県出身初の首相 加藤高明かとう たかあき (佐屋町)



Q いつ頃の人?

A 万延元年(1860年)~大正15年(1926年)政治家

Q 幼いころは?

A 海東郡佐屋村(愛西市佐屋町)において佐屋代官所の手代服部重文・久子の次男として生まれた。幼名は総吉。生家は旧佐屋川堤防付近に位置し、近隣には、代官手代たちが集住していた。

Q 少年・青年時代は?

A 幼い頃より学に秀で、名古屋に移住(明治2年)し、明倫堂、名古屋洋学校を経て上京、高明と改名。その後、東京外国語学校、開成学校を経て東京大学法学部卒業、三菱に入社。

Q 政治家としての活躍は?

A 伊藤博文内閣の1900年(明治33年)に外務大臣に就任。

その後、土佐郡部から選出され1902年(明治35年)衆議院議員となる。西園寺公望、桂太郎、大隈重信内閣等で外務大臣などの要職を歴任した。

Q 内閣総理大臣としての活躍は?

A 1924年(大正13年)総選挙に勝ち、憲政会・政友会・革新倶楽部による護憲三派連立内閣を組織。

愛知県初の総理大臣の誕生。行政改革、貴族院の改革に着手した。普通選挙法の発布と同時に治安維持法を成立させた。



▲加藤高明の石碑(佐屋町)

参考「黎明期のあいさい出身の政治家たち」愛西市八開郷土資料室取材協力 石田泰弘(生涯学習課長兼佐織図書館長)

令和3年6月定例会の開催予定

5月28日(金) 本会議(招集日)議案上程

6月 3日(木) 本会議(第2日)一般質問

6月 4日(金) 本会議(第3日)一般質問

6月11日(金) 本会議(第4日)議案質疑

6月15日(火) 総務文教委員会

6月16日(水) 建設福祉委員会

6月22日(火) 本会議(最終日)討論・表決

クローバーTV放映日時(チャンネル121)

6月10日(木)午前10時~午後7時~

6月11日(金)午前10時~午後7時~

- 本会議及び常任委員会は午前9時30分から開催します。
- 5月28日(金)は午前9時から開催します。
- 日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大は、これまでの考え方や働き方を根底から覆すほど大きな影響を我々に与えました。そのため、旧態依然とした進め方は、もはや、世間では通用しません。厳しい局面にある自治体運営も、将来を見据えた変革が必要で、地域を存続し、活性化するにはどうしたらよいか。地域の将来ビジョンをどう描くか。厳しい選択が迫られています。

さて、毎回誌面が進化するよう努力を重ね、真剣に取り組んでいる「議会だより」いかがでしょうか。今後も、ご愛読をよろしく願います。

(佐藤 信男 記)

委員長 山岡 幹雄
副委員長 原 裕司
委員 真野 和久
吉川三津子
竹村 仁司
佐藤 信男